



2021年3月20日(土) 実務家教員フェア【第3部】

# 進化型実務家教員養成プログラムの全体像

進化型実務家教員養成プログラム



Training for Emerging Educators and Practitioners

名古屋市立大学大学院経済学研究科

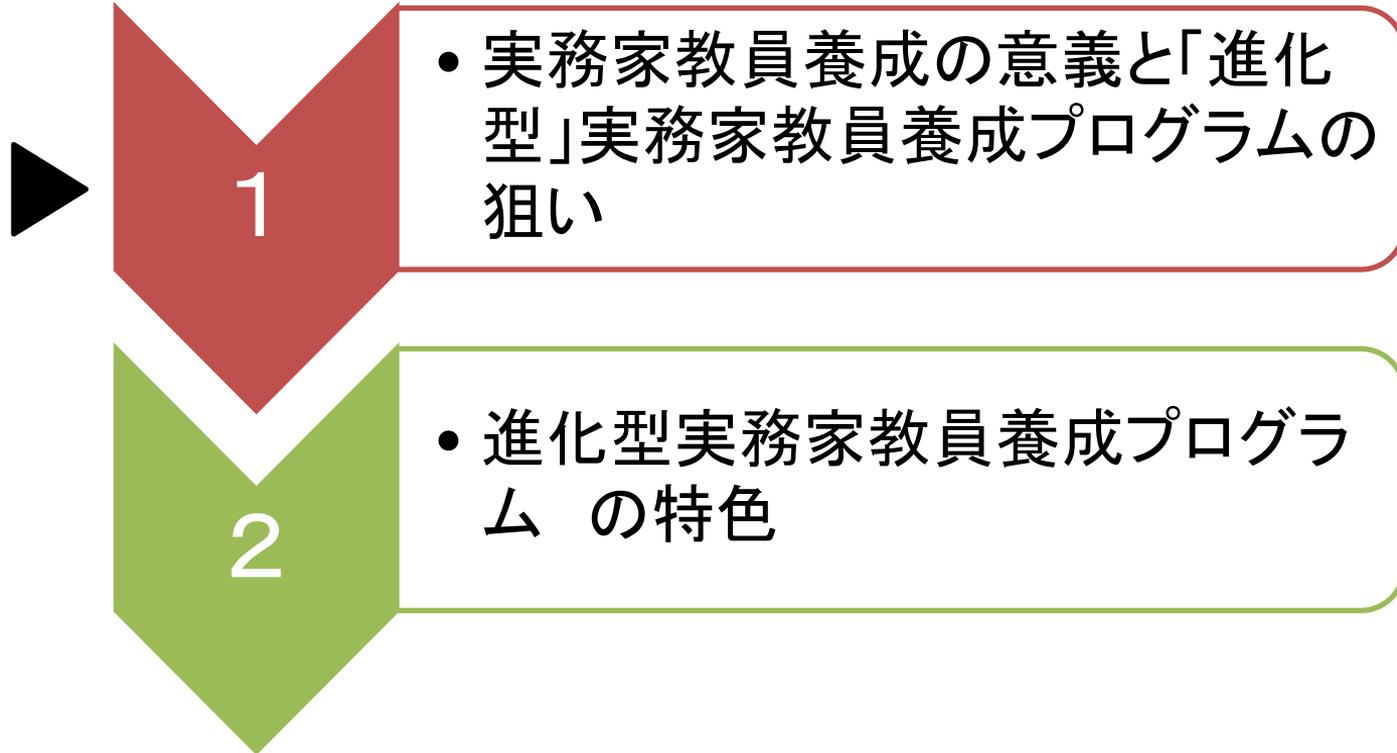
教授 鵜飼宏成

(TEEPコンソーシアム実施委員会委員長)

名古屋市立大学・岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学



## 次第



## 実務家教員とは？ 「進化型」実務家教員とは？

### 用語の説明:

#### 【実務家教員】

おおむね5年以上の実務の経験と高度の実務能力を有する大学等の教員。

#### 【進化型実務家教員】

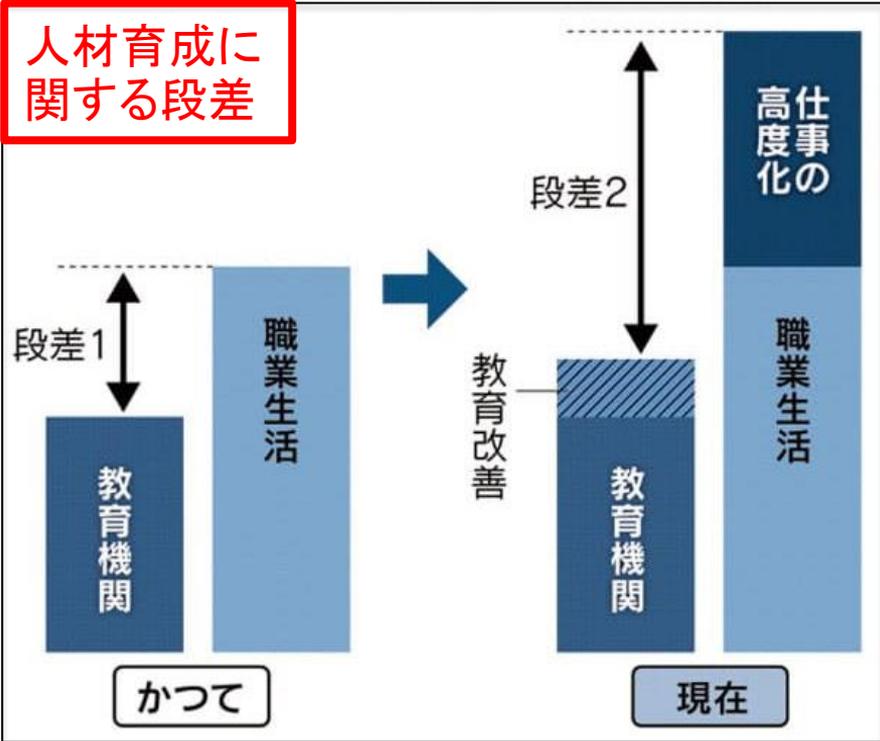
上記実務家教員の規定に加え、実務家として「一仕事以上を成した」うえで、大学の職に転じた教員。

- 基礎理論の応用経験あり
- 組織を動かす経験(組織内マネジメント経験)や全社的な視点にたった仕事の経験あり

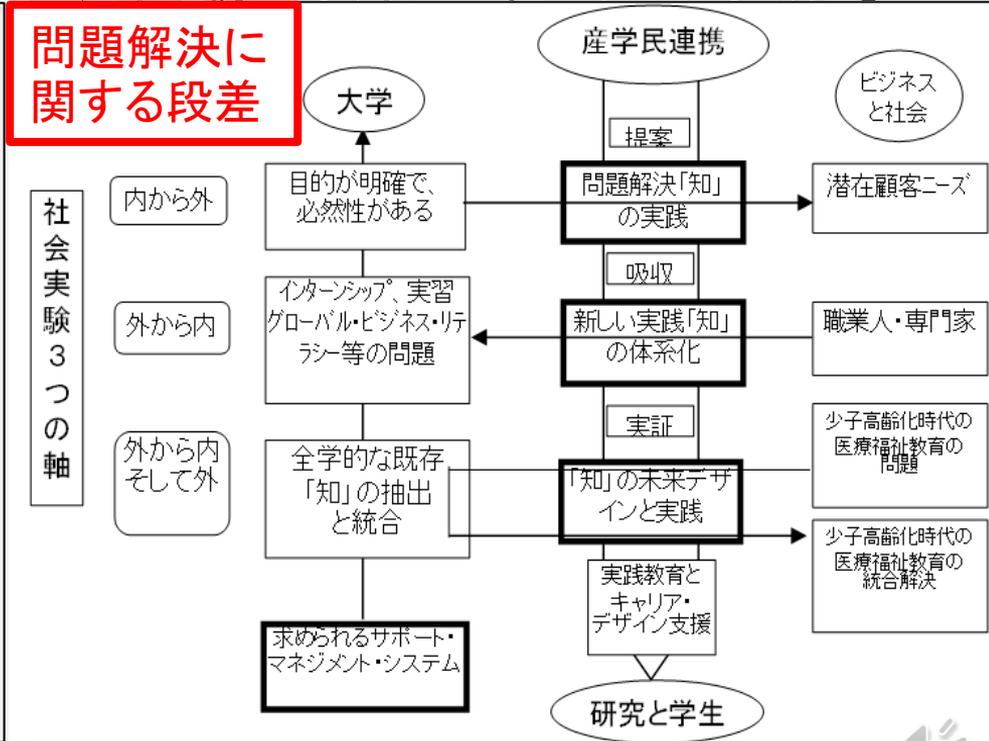


## 2種類の「段差」を意識すべき！

### 教育機関と仕事世界の間の「段差」



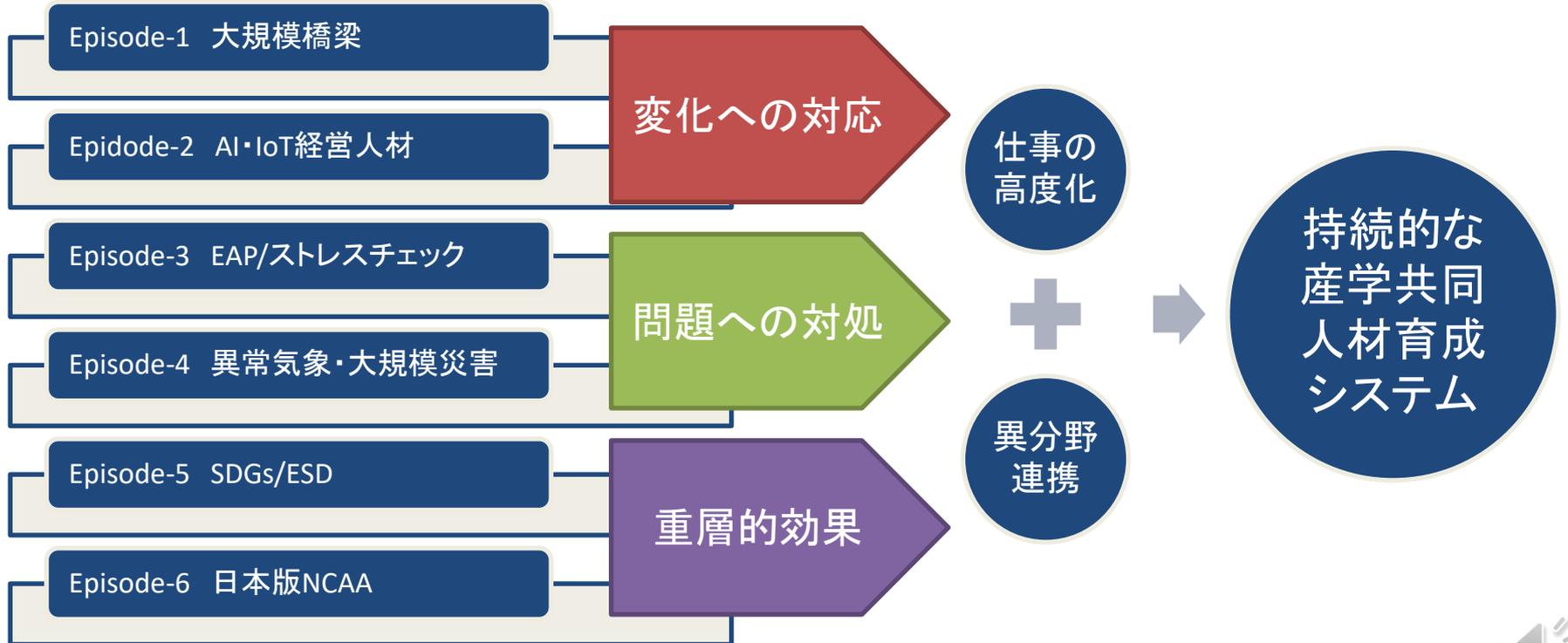
### 産学連携に向け我々が置かれている「段差」



出所：2019年9月23日付日本経済新聞  
「大学教育と職業生活 広がる「段差」実践では正」

作成：鵜飼宏成(2004年11月7日)

# 進化型実務家教員が求められる背景



段差は状況に応じて質が変化するのが常！

段差①  
人材育成

● 探究

段差②  
問題解決

● 創造的  
解決

なぜ、進化型実務家教員養成が求められる？

段差の特性を理解し、解決のための方法を生み出し、ステークホルダーとともに「人材育成」と「問題解決」を実践できる人材の重要性。

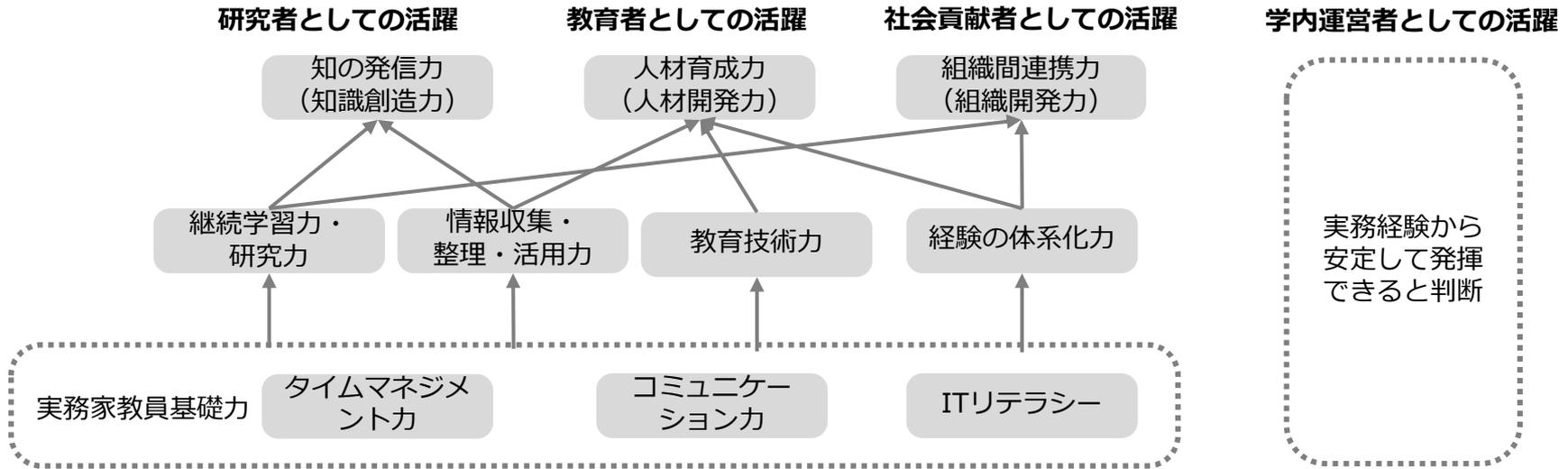
実務家教員には、経験を伝えること《プラスα》が求められる。



# 「安定して発揮できる能力」を構造化する

- 大学教員の4つの使命と「安定して発揮できる能力」を関連づけして構造化する

## 進化型実務家教員の4つの活躍領域



出典:名古屋市立大学「進化型実務家教員養成プログラム」ワークショップ 実務領域診断カルテ開発の中間報告Joyworks資料(2020年10月21日)



## 次第



1

- 実務家教員養成の意義と「進化型」実務家教員養成プログラムの狙い



2

- 進化型実務家教員養成プログラムの特色



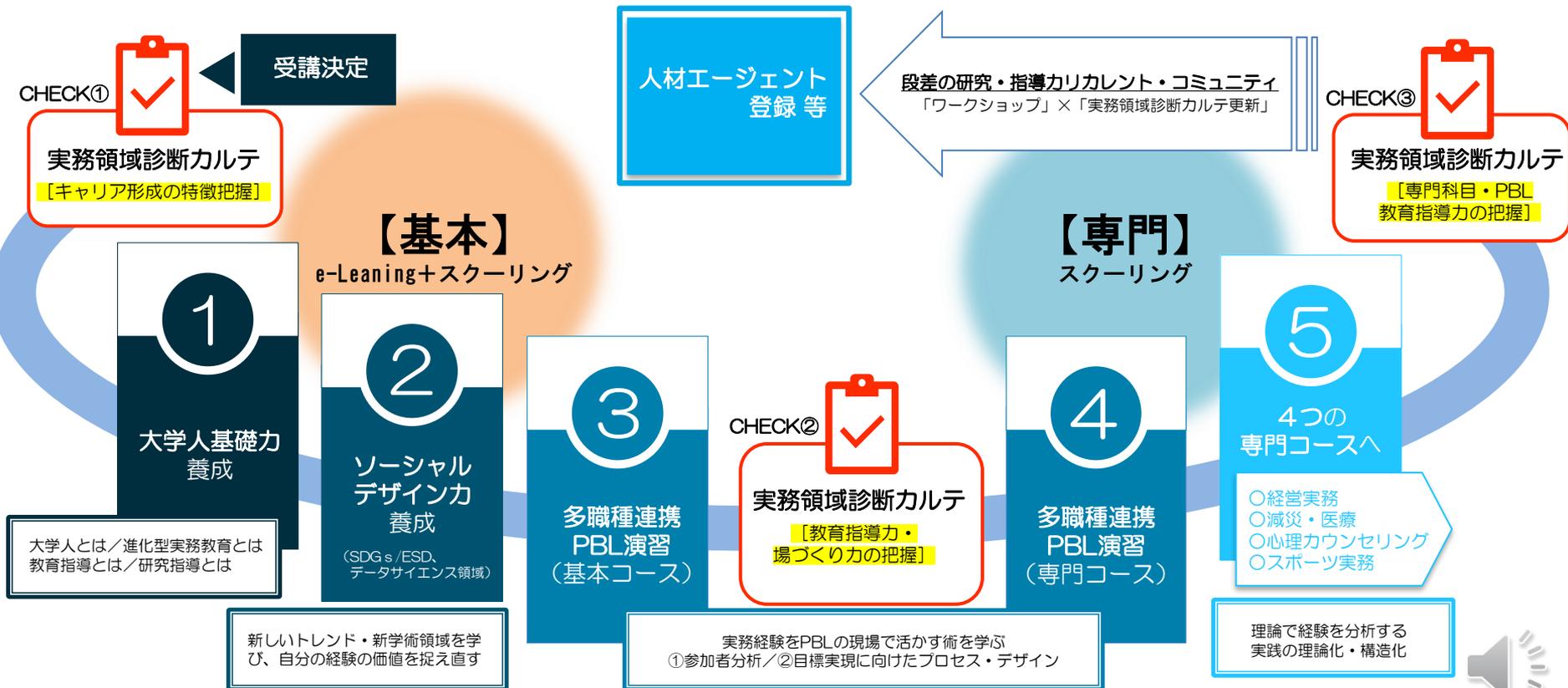
# 「進化型実務家教員養成プログラム」の構造

## 【2段階の履修証明プログラム】

|   |   |   |
|---|---|---|
| 基本コース<br>(新設：Eラーニング + スクーリング)   | ⇒ | 専門コース (4コース)<br>(既設置科目活用型スクーリング)  |
| (狙い)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導力の修得 (大学教育概論、教育方法、研究方法、ソーシャルデザイン能力を含む)</li> <li>・産学官民協同で社会課題克服のプロジェクトを創出し、教育の場づくり (多職種連携 PBL 演習として実践)</li> </ul> (参考)<br>基本コース担当：名古屋市立大学 (高等教育院、人間文化・経済学・理学等の研究科) |   | (狙い)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・各コース指定科目内より、実務家教員希望者のストロングポイントを伸ばし、ウィークポイントを克服する科目履修と選択</li> </ul> (参考)<br>経営実務<br>減災・医療<br>心理カウンセリング<br>スポーツ実務 |
| 60 時間以上の講義+10~20 時間実習   |   | 4 科目 8 単位相当の履修  |
| 職能力診断カルテの事前、事後チェック (職務・教育力・専門分野のポートフォリオ)  |   |   |



# 進化型実務家教員養成プログラム 学修プロセス



|   |                | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月   | 9月   |
|---|----------------|---|---|---|---|--|--|
| <b>都市課題<br/>プロジェクト研究</b><br><br><small>大学院人間文化研究所<br/>都市政策コース科目</small> |                | <b>①4/5 16:20～17:50</b><br>ガイダンス〔Zoom〕<br><b>②4/27～5/3</b><br>研究指導論(事前指導)   | <b>③～④5/6～5/19</b><br>研究指導論(実践)<br><b>⑤～⑦5/20～6/9</b><br>大学教育実践演習事前指導 | <b>⑧～⑩6/10～6/30</b><br>大学教育実践演習   | <b>⑪～⑫7/1～7/14</b><br>大学教育実践演習事後指導<br><b>⑬～⑭7/15～7/28</b><br>実務経験をどのようにソーシャルデザインに活かすかについてのプレゼンテーション |  | ○9/3最終レポート提出<br><br><b>⑮9/17 18:00～19:40</b><br>全体講評〔Zoom〕 |
|   |                | 研究指導系・教育実践演習系の具体的な曜日・時間はテーマ別担当教員の時間割に合わせることを原則とする。  |   |   |   |  |  |
| <b>事前学習</b>   | <b>動画視聴</b>    | 4/6～4/25<br>「大学教育と進化型実務家教員」「教育・研究倫理」「研究方法論」の8回分<br>4/6～4/23<br>学振の研究倫理e-ラーニング受講(4/23までに終了証提出)<br><br>4/26～5/31<br>「持続可能な社会構築論」の10回分 |   |   |   |  |  |
|   | <b>スクリーニング</b> |   |   | 6月中(土日または平日18時以降)<br>「持続可能な社会構築論」<br>・SDGs/ESD_2回〔Zoom〕<br>・データイン_2回〔対面〕<br>・データイン_1回〔Zoom〕 | <b>○7月</b> →  | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>多職種連携PBL演習</b><br/>           (土日または平日18時以降または夏期集中)<br/>           ・事前研修_3回_平日18時以降<br/>           ・実習_10～20時間_土日または夏期集中<br/>           ・事後研修_2回_平日18時以降         </div> | <b>●9/12</b>   |
| <b>チュートリアル/<br/>実務領域診断カルテ</b>   |                | <b>4/6～4/9 18:00～19:40</b><br>実務領域診断カルテ作成期間<br><b>4/17～4/21</b>   |   |   |   |  | <b>9/4～9/17</b><br>実務領域診断カルテ更新                             |
|   |                | テーマ別担当教員決定に向けたチューターとの相談期間<br>・研究指導論<br>・大学教育実践演習<br>・多職種連携PBL演習<br><br>チューターへの相談(随時)  |   |   |   |  |  |



# 「進化型実務家教員養成プログラム」の受講料及び定数

- ・**基本コース**…名古屋市立大学大学院人間文化研究科「都市課題プロジェクト研究」に位置づけ  
**2021年度10名、2022年10名、2023年度20名**  
受講料:ア 入学料 名古屋市住民等(※) 23,200円/その他の者 33,200円  
イ 学生教育研究災害傷害保険料(現行) 1,000円  
※「名古屋市住民等」とは、①入学者 又は ②入学者の配偶者若しくは1親等の親族が、入学の日において、同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指す  
ウ 授業料 29,600円(2単位相当)※PBL演習等については、別途実費負担の可能性有  
合計 名古屋市住民等63,600円(その他の者73,600円)・・・ア～ウ計に入学検定料含む
- ・**専門コース**…名古屋市立大学、中京大学にて4コース設置  
**2021年度10名、2022年15名、2023年度20名**  
受講料:名古屋市立大学の場合4科目相当で160,000～170,000円ほどになる見込み  
/中京大学は現在検討中

※名古屋市立大学では、大学院科目の科目等履修制度を活用⇒後の大学院進学にもメリット  
医学研究科に「減災・医療コース」を新たに設置

